

埼玉県立上尾かしの木特別支援学校



地域等との協働による開かれた特別支援教育の実践

団体・学校の特徴

知的障害のある6歳から18歳の児童生徒400名以上が学ぶ、県内で最も規模の大きな特別支援学校です。県南部の広範な通学区域から集う子供たちが多様な人々とつながり協働する機会を創出し、地域に開かれた特別支援教育と共生社会の実現に果敢に取り組んでいます。

所在地(市町村名)

上尾市

会員数又は児童生徒数

418名

活動期間

5年8か月

活動内容

コロナ禍前から行っている地元企業等での就労体験や作品展・製品販売の拡充に加え、令和4年度のコミュニティ・スクール化を契機に、創意工夫によりコロナ禍の制約を克服しつつ学校を地域社会に開く様々な取組を全校一丸となって推進しています。

特徴的な活動(令和3年度以降)



国際交流

ブラジルやアルゼンチン、アメリカ出身の県教育局国際交流員を招いての異文化体験。世界の多様な人々とやりとりする楽しさをおして、多文化共生を実践しています。



作業製品販売

大型ショッピングモールにて地域の方々と交流しながら、作業学習で製作した製品を展示・販売しています。



カブトムシの幼虫を育てよう

「さいたま緑のトラスト協会」のご協力のもと、地域の自然林でカブトムシを育てる体験学習を行っています。



地元のお店とコラボ コロッケ作り

校内の畑で栽培したジャガイモを総菜専門店の方といっしょに収穫し、プロの味のコロッケに。収穫後の調理の様子はお店による動画配信で学びます。

